

PROGRAM NOTE

私と「アンデスの声」との出会い

群馬県

手賀英雄



《田辺農園の田辺さん》

私と「アンデスの声」との出会いは海拔三千メートルのエクアドルの首都キトでした。日本人学校教諭として1982年から3年間、貴重な経験をさせていただきました。キト日本人学校は新設校でしたので3人の派遣教員と23名の児童生徒でスタートしました。校舎は民家を借用したものでした。校庭の遊具や教材などはすべて手作りです。分からぬスペイン語を駆使し教材つくりの材料を探し求め歩き回ったことはつい最近のように懐かしく思い出されます。奇跡の島「ガラパゴス諸島」には、私は生物専攻だったのであわせて3回も往復しました。「アンデスの声」

からも番組出演を依頼され、「私の声がアンデスから世界に流れる…」と想像しただけもワクワクしました。

7年前に校長職を退職し、自分探しの旅に出ました。初めに、私にとっての第二の故郷エクアドルを訪問し、“世界で初めて、日本人によるバナナ農園(田辺農園)”に足を運びました。そこでは有機肥料によるバナナ栽培が行われていました。バナナの残渣を発酵させ更にミミズ農場で分解をさせ、それをバナナの肥料として与えるという方式です。そこでできたバナナは普段私が食べているバナナと比べ一味も二味も違うものでした。有機のバナナ……その味の根幹を成すものはバナナの残渣の発酵です。つまりその発酵菌が”EM菌”というものです。帰国後、EM菌について勉強しました。日本では、アトピーなどのアレルギーや薬害・がんの発生などに食べ物が大きくかかわっていることが指摘されていることから、食の重要性を再認識し、EM菌を活用した「安心・安全」な野菜・米づくりをしてみようと決心し、農業従事者として第二の人生を踏み出すことにし、EM菌を活用した借地農業をしています。8反の田んぼでは約50俵のお米、4反の畑では、キャベツ、白菜、大根、アブラナ、小松菜など80種類以上の野菜を作っています。百姓とは100種類の農作物をつくる…と言われています。まだまだ修行は続いています。充実した成りモノ野菜を作るには、受粉が重要です。最近はミツバチも飼育するようになりました。田んぼや畑に佇み、作物やミツバチを眺め、空の青さや風の匂いを感じ悠久の時を感じている今日この頃です。ヒデちゃんちの野菜畠 (plaza.rakuten.co.jp/ortega05061/)の blog へどうぞ！



《稻刈り》

2007.10.14

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫

東京淀橋教会 峯野龍弘主管牧師

毎週土曜日放送

毎週日曜日放送

10月05日 HCJBリスナーの集いin京都 (1)

10月06日 聖書の見所を訪ねて：聖書遊覧バス (45)

10月12日 HCJBリスナーの集いin京都 (2)

10月13日 聖書の見所を訪ねて：聖書遊覧バス (46)

10月19日 私と「アンデスの声」との出会い 手賀英雄 (1)

10月20日 リスナーからの「お便り交換の時間」

10月26日 私と「アンデスの声」との出会い 手賀英雄 (2)

10月27日 聖書の見所を訪ねて：聖書遊覧バス (47)

放送後の番組は、ホームページ(<http://japanese.hcjb.org>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。（mp3形式）